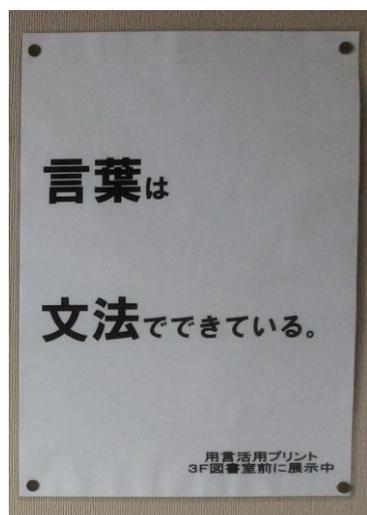


はにい

「分からない」は始まりだ

平成29年7月26日



「2年生たちが、今、困ってるんだよねえ……。」
先生がふと漏らしたつぶやきからある中学校でのプロジェクトがスタートしました。

「君たちも苦労したでしょ、文法……。」
先生は、国語の授業で文法の学習に苦労している2年生が多いことを、3年生に伝えたのです。

「うん。大変だった。」「最初は何にもわかんなかった。」

「今、2年生が悩んでいるんだ。」

「そういうことなら、要点をまとめたプリントを作ろう！」

何人もの3年生が、後輩たちのために、自分たちが苦労したことを生かして学習プリントを作り上げました。

題して「用言活用プリント」。

できあがった「用言活用プリント」は、図書室の前に置くことになりました。

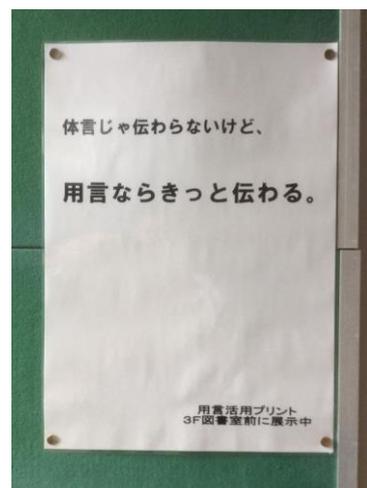
「できるだけたくさん後輩に見てもらいたい！」

「一人でも多くの後輩が文法を分かるようになってほしい！」

こうした願いを込め、次に取り組んだのはキャッチコピーづくりでした。

「キャッチコピーを考えて、貼りだそうよ。」

それぞれの知恵が、いくつものコピーを生み出しました。



「言葉は文法でできている。」

「体言じゃ伝わらないけど、用言ならきっと伝わる」

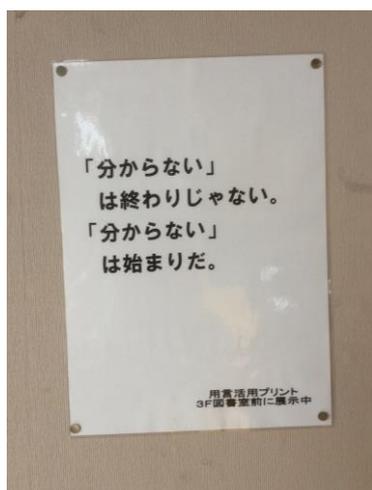
「日常会話ってほとんど用言じゃね？」

「日本語、使えてる？」

「用言って、生活必需品だと思う」

後輩の心に訴えかける様々なコピーの中に、文法の学びをこえた1枚のコピーが貼られていました。

「分からないは終わりじゃない。分からないは始まりだ。」



『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp